

2018年9月
1146号

百葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

国際識字デーに寄せて

～9月櫻華塾～

残暑厳しい9月9日、櫻華塾を開催。冒頭、小山副会長が、6日の未明に起こった北海道胆振東部地震に触れました。北海道のご友人と電話が3日間つながらなかったそうです。7月には西日本に豪雨が降りましたし、9月末にはインドネシアで地震と津波がおこりました。世界中で気候変動や災害が起こっていることを感じました。

1000人輪読を成し遂げよう

8月24日に開催した赤松良子先生の誕生日会の後、赤松先生からお電話があり「昨日はありがとう、みんなによろしく。楽しかったよ」とのお言葉をいただきました。来年も誕生日会に出席していただけることになりました。さらに嬉しいことに「一冊の会は識字だから、本を贈りましょう」と、ご著者である自叙伝『忘れられぬ人々』『続忘れられぬ人々』を頂きました！赤松先生の真心に、一同は大感激。新井次長から、来年の8月24日までに、必ずやこの2冊の1000人輪読を成し遂げて赤松良子先生の誕生日をお祝いしましょうと提案、本日中心者を決定。来年のお誕生日会で赤松先生にご報告をしたいと思います。



FAWA(アジア太平洋女性連盟)フィリピン総会に向けて

三坂一冊の会 FAWA 事務局長から、いよいよ約2週間後に迫った FAWA(アジア太平洋女性連盟)フィリピン総会に向けて、スケジュールの確認と予定されている分科会の内容の説明がありました。民間外交のとても大切な機会であり、自ら何をするのか考え行動しましょう！と、前回のシンガポール総会での決議文や、キーワードとなる言葉「SDGs」「3R」を再度勉強しておくよう話されました。前回から2年間の間に何ができたのか、これから何ができるのか、1人1人が主体的に考え参画いたしましょう。意義のある国際会議・国際交流となるよう務める決意を固めました。

今日は何の日 9月8日国際識字デー

1965年9月8日イランのテヘランで開かれた世界文相会議で、イランのパーレビ国王が軍事費の一部を識字教育に回すことを提案したことを記念して、ユネスコが制定したのが国際識字デーです。当時、酒井悌先生は「軍事費を教育に充てるのはすごいことだね」とおっしゃったそうです。その2年後、女性差別撤廃宣言の年である1967年、読書週間の始まりの日の10月27日に「一冊の会」と名称を決めました。

SDGs(持続可能な開発目標)の目標4は「質の高い教育をみんなに」です。識字率の低い国は開発途上国に集中しており、中でもアフリカの国々が多いことが統計から分かります。1998年タンザニア連合共和国ムカパ大統領が来日された際の晩餐会で、アンナ大統領夫人が「識字教育は大事」とおっしゃっていたことが思い出されます。また、アジアではアフガニスタンが低く、2002年に訪ね教育を受けることができない女性に鉛筆を贈呈したことが思い出されます。大槻会長が今までの活動と現状とを結びつけ語られる度に、一冊の会の歴史を感じ、積み重ねた関係を絶やさず次代につなげていかなければならないと改めて決意しました。

そして、いつも定期的に鉛筆を寄贈していただいている富永さんが、国際識字デーを記念し本日も鉛筆を持参し会長に贈呈されました。その持続的な活動に一同拍手。この鉛筆が少しでも識字教育に生かされ、世界中の子どもの輝く未来を願います。



石田理事長から

先月尾崎行雄記念財団が行った「相馬雪香さん没後 10 年の集い」終了後、一冊の会の取り組みは相馬雪香の精神を大事にしてくれているという声があった。一冊の会の取り組みは本物だったし、今も本物として続いている。赤松良子先生が誕生日会に来てくださるのは、50 数年続けてきた活動があり、その中で赤松先生と作り上げてきた信頼があるからです。一冊の会が育み続けた人の力を大切に持続していきましょう。例えば、先日も北海道で地震がありましたが、災害の時に大量の物資を送ることも大切なことですが、一冊の会の支援は、顔が分かる支援です。お互いが顔を合わせ、言葉を交わして、被災者に寄り添う活動が大切です。

いよいよ今月に迫った FAWA フィリピン総会。中心となってくださっている三坂さんに改めて感謝です。(拍手) 相馬雪香が約 68 年前にアジア太平洋の平和を願って設立しようとした精神は、今一冊の会に受け継がれています。FAWA の取り組みは 1 人 1 人の学びとしても大事ですし、日本に持ち帰り日本の現状をどう変えていくかに向かい合っていくことも、大変な作業ですが大事なことです。1 つの大きな使命を持って、ぜひ継続的に取り組んでください。そして次回、東京で開催する時に正々堂々と胸を張って発表できるよう、我々も行動を起こしていかななくてはなりません。

識字率の低い国は開発途上国です。特に政情不安定なところ、独裁政権の国です。独裁政権は言論の自由を制限します。日本は江戸時代から識字率は高く、近代国家建設の際に日本の発展につながりました。しかし、言葉は使い方によっては誤った方向に導くこともある。「万葉集」は詠み人知らずの歌もたくさんあります。誰でも参加できる、誰でも発信できる。言葉は発展の礎です。議論ができる自由を認めてこそ社会が発展していきます。

明後日は何の日？

9 月 11 日は大槻会長のお誕生日です！一同から会長へささやかなプレゼントを差し上げました。会長は猫が大変好きですので、猫柄のハンカチ、猫柄のスカーフ、猫の持ち手のティーバッグに、バースデーカードも猫型と、猫づくし。会長に喜んでいただけて満足です。



本日は識字、教育、言葉の力について考えさせられました。名著を読むことは英知を磨く絶好のチャンスととらえ挑戦していきましょう！と大槻会長はおっしゃいました。私たちは比較的簡単に様々な名著を読むことができますが、時間が無いなど様々な理由で本を読む時間が減っていると反省しました。まずは、赤松良子先生にいただいたご著者を必ずや 1000 人輪読できるよう、まずは率先して拝読したいと思います。

文責：赤田研究員